

8年間の成果と課題

2014~2022



コロナ 主な対策

① 感染拡大防止

- ワクチン接種の推進 3回目接種率:**64.0%**
(R4.5.26現在)

② 医療提供体制

- コントロールセンターによる病床等一元管理
- 要介護高齢者等専門の宿泊療養施設設置

③ 社会経済文化活動

- 資金繰り支援 融資額:**3,369億円**(R4.3末)
- 生活者支援 貸付総額:**233億円**(R4.3末)
- 「びわ湖ホール」 **第68回菊池寛賞**

ひとの健康

- ① 乳幼児医療費・多子世帯保育料の無料化
- ② 全県立学校のエアコン整備 など

		2012年		2019年
平均寿命	男性	81.40	↑	82.38
	女性	86.53	↑	87.81
合計特殊出生率		1.53人	↓	1.47人

社会・経済の健康

- ① 「びワイチ」第1次ナショナルサイクルルート指定
- ② アンテナショップ「ここ滋賀」東京に開設 など

	2012年		2021年
交通事故死傷者数	10,498件	↓	3,567件
刑法犯認知件数	15,139件	↓	5,814件
観光消費額	1,510億円	↓	1,170億円
2018年(コロナ禍前) 1,972億円			

自然の健康

- ① 「CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」制定
- ② MLGs(マザーレイクゴールズ)策定 など

	2013年度		2019年度
温室効果ガス削減率	基準	↑	▲22.2%
目標:2030年度	▲50%		

三期目の新たなチャレンジ

おかげさまで滋賀県知事として8年。皆がそれぞれに日々活動してまいりました。重責に押しつぶされそうなる時もありましたが、皆さまの理解とご支援の賜物です。皆さまの健康と暮らしを大切に、深く感謝いたします。

△2年目に入ったコロナ禍、△コロナによるオンライン感染、△長寿化と少子化、人口減少、△気候変動ともいえる地球温暖化、...等

先任が見過ごさなかった不安はありますが、琵琶湖をまんなかにやまに囲まれた豊かな自然、おみやげの歴史と文化、産業があり、お互い思いやり支え合おうとがんばります。私たちが語り継ぎ、同時に未来への光です。滋賀の力を活かし、滋賀らしく、皆が笑顔で健康しがもつるため、これからも元気に活動してまいります。皆様、一緒にがんばりましょう!!

三日月大造



- 大津市立日吉台小、日吉中学校、膳所高等学校卒業
 - 一橋大学経済学部卒業後、1994年にJR西日本入社
 - 2002年 松下政経塾入塾
 - 衆議院議員4期連続当選、滋賀の声を届け続ける国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等を歴任
 - 2014年 滋賀県知事に就任
 - 2018年 滋賀県知事(2期目)
- 未来へと幸せが続く「健康しが」づくりに挑戦中

QRコード facebook 三日月大造

www.genki1.com

頒布責任者/大脇正美:草津市若草2-4-14
印刷責任者/(株)ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 YP1

証紙添付欄



滋賀県知事候補者 みかづき たいぞう

三期目の新たなチャレンジ

つたにまけず、みんなで大盛り！健康しが



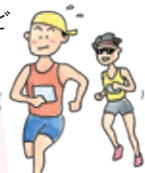
くわしい
政策集は
HPへ！

www.genkii.com

ひとの健康

文化・芸術やスポーツを通じた元気づくり

- 文化財の保全と活用、「近江の城1300」魅力発信
 - 新文化館の検討、彦根城世界遺産、幻の安土城 など
- 文化・芸術を育む環境づくり
 - びわ湖ホール大改修、新しい美術館検討着手 など
- 令和7年(2025年)の国スポ・障スポ大会へ
- スポーツを楽しむ環境づくり ほか
 - 新マラソン・全国中学校駅伝の実施、eスポーツ など



“魅力ある公園”づくり

健康づくりの推進、メンタルヘルスケアの充実

ひととすべての生き物、自然とのつながりづくり

- ひとと動物の豊かな関わり、生物多様性の保全 ほか ワンヘルス

先を見据えた感染症対策

滋賀の医療提供体制づくり

- 持続可能で期待に応えられる県立病院へ ほか



自然の健康

CO₂ネットゼロ

- ゲームチェンジ(ライフスタイル・地域づくり転換)
- 脱炭素先行地域でのチャレンジ
- 再エネの更なる普及、イノベーションの創出 ほか

やまの健康2.0

- 林業成長産業化、森林整備、農山村活性化
- “植樹祭のレガシー”づくり ほか

琵琶湖の保全再生

- MLGs・「びわ活」の推進、外来動植物対策
- 「琵琶湖システム」世界農業遺産 ほか

ひとづくり

子ども・子ども・子ども

- 生まれる前からの切れ目のない子育て支援
 - 医療費無料化の拡充検討 など
- 困難を抱える子どもへの支援
 - 4か所目の子ども家庭相談センター新設 など
- ICT活用による「生きる力」、「確かな学力」の向上 ほか



滋賀の産業

- 高専づくりの準備促進
- 企業(起業)人材、農林水畜産業の担い手 ほか

滋賀の社会

- 防災人材、地域づくり人材
- スキルアップ・学び直し ほか



滋賀の医療福祉

- 医療福祉人材 ほか
 - 医師・看護・介護・保育・子どものこころ専門医 など

「健康しが」の基盤づくり

より良き自治の追求

- 図書館の機能とネットワークの充実 ほか
 - 「(仮称)こどもとしょかん」の設置検討 など

県政150周年から一歩

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

行財政基盤の強化

地域循環型社会の構築

- エネルギー作物(菜の花等)利用促進、
サーキュラーエコノミー ほか



社会・経済の健康

地域公共交通の充実

- 「(仮称)滋賀地域交通ビジョン」づくり
- 滋賀の交通ネットワークの維持強化
 - 近江鉄道線活性化と経営改革 など
- 移動を支えあい交通をより良くするための税制(交通税)の検討推進 ほか



社会資本の着実整備

- みち(道路網の充実強化)、みず(河川整備等)、まちづくり、グリーンインフラの推進
- 物流機能の強化 ほか

コロナ禍からの経済回復の支援

- 中小企業・地場産業・スタートアップの支援
- 環境こだわり農業の進化、「儲かる漁業」づくり、近江牛等の振興、「動物の福祉」挑戦開始
- 新しい旅「シガリズム」の発信 ほか

滋賀の活かづくり

- 大阪・関西万博への参画
- 人口減少地域の創生支援、関係人口の創出
- フィルムコミッション機能の充実
- 女性活躍・ダイバーシティの推進 ほか

次世代の滋賀の産業づくり

- 世界の潮流(ゲームチェンジ)を踏まえた産業創造(誘致) ほか

ビワイチの推進 条例に基づく



安全・安心の社会づくり

- 多文化共生社会の滋賀づくり(県内でも国際交流)
- 障害者差別のない共生社会づくり
- 防災力強化、交通事故・犯罪防止対策強化 ほか